

JAL の中期戦略

安全運航体制の堅持

グローバルエアラインを目指す

国際旅客：主力路線である太平洋線、欧州線で利益を出す

国内旅客：中・近距離の旅客移動を SURFACE から AIR に誘導する

国際貨物：比較的低いイールドの貨物でも利益が出せる

整備カンパニーの中期戦略

人材の育成

[JAL 戦略との関係] 安全運航体制の堅持、グローバルエアライン

[整備カンパニーの目標] 技術の伝承、自立的マネジメント

グローバル人材の育成（舞台は外へ、そして世界へ）

世界一高品質な機材の提供

[JAL 戦略との関係] 高い競争力、高いイールドの確保

[整備カンパニーの目標] 安心、快適なフライトの提供、高い定時到着率の達成

欧米先進エアライン並みのコスト競争力の達成

[JAL 戦略との関係] 欧米先進エアライン並みのコスト水準を達成

[整備カンパニーの目標] 業務品質向上、機材品質向上によるコストの削減

受託業務拡大による JAL コストの削減

財務体質の改善

戦略に基づく 2000 年度の主要な取組み目標

グループ 整備会社の早期自立達成

大量出向の円滑な実施

認定事業場免許の早期取得

グループ会社再編の円滑な実施

グループ会社整備員の技量向上

新検査制度、新整備員制度の早期定着化

技術力の向上と Know-how の蓄積

エアラインとしての技術力、Know-how の活用

Cabin Interior Design の重視

業務品質の向上(全職種対象) :Business Process Reengineering`

<業務品質向上 20% ⇒ 整備コスト削減 20% ; TAT 短縮 20%>

[組織再構築(2000年4月1日)]

FLAT な組織の実現

責任・権限の委譲…自律的組織運営

コミュニケーションコスト低減…調整業務の極小化

働き甲斐の追求

[個別業務の再構築]

規定の遵守

委託管理の再構築 (← グループ会社の認定事業場認可取得)

故障原因探求迅速化

情報公開、情報共有化による品質の底上げ

[“不文律”の見直し]

マネジメント能力の発揮 (自立的マネジメントの確立)

創造性、柔軟性の発揮 (習慣、横並び意識に囚われない)

[仕組みの見直し]

EMA 改訂 (= 社内規制の合理化)

ERP (Enterprise Resource Planning) の導入準備

Information Technology の活用



受託業務拡大 < CW受託比率 30% / 4年間 >

Business Development 推進 (戦略的提携)

FAR、JAR への適合 (グローバルな整備ビジネスを志向)

財務体質の改善

サプライチェーンマネジメントの導入 (部品事業部、エンジン事業部)

「最適調達・最適生産・最適在庫」

在庫実態適正化 : Recovery 部品の適正評価、無価値部品の償却
施設・設備利用効率の向上